

腎臓内科で最も多い症例は、透析患者さんに対する経皮的シャント拡張術です。2番目に多い症例は、透析患者さんの治療入院です。

2つの症例からも患者さんの年齢が高齢であることが分かります。

初発の5大癌のUICC病期分類並びに再発患者数ファイルをダウンロード

	初発					再発	病期分類 基準(※)	版数
	Stage I	Stage II	Stage III	Stage IV	不明			
胃癌	-	-	-	-	-	1	1	7
大腸癌	-	-	1	-	2	-	1	7
乳癌	-	-	-	-	-	-	1	7
肺癌	-	-	-	1	1	-	1	7
肝癌	-	-	-	-	2	-	1	7

※ 1:UICC TNM分類, 2:癌取り扱い規約

当院での癌症例を病期分類で見た場合、癌症例の患者さんが少ないことが分かります。当院では、循環器内科・腎臓内科を中心に治療を行っているため、癌症例が少なくなっております。

成人市中肺炎の重症度別患者数等ファイルをダウンロード

	患者数	平均 在院日数	平均年齢
重症度 0	5	9.80	41.60
重症度 1	14	19.57	85.07
重症度 2	5	17.20	87.40
重症度 3	5	19.00	90.60
重症度 4	2	44	79.00
重症度 5	1	26	95.00
不明	1	53	98.00

患者数が最も多いのは重症度1～重症度3の患者さんとなっております。平均年齢を見てみると、重症度1以上では80歳以上と高齢になっており、成人市中肺炎は高齢になるほど重症になることが分かります。平均在院日数を見ても、当然ながら重症ほど長くなっております。

脳梗塞のICD10別患者数等ファイルをダウンロード

ICD10	傷病名	発症日 から	患者 数	平均在院 日数	平均年 齢	転院 率
G45\$	一過性脳虚血発作及び関連症候群	3日以内	4	2.5	76.75	-
		その他	-	-	-	-
G46\$	脳血管疾患における脳の血管(性)症候群	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I63\$	脳梗塞	3日以内	9	32.44	66.11	18.18
		その他	2	13	63.5	9.09
I65\$	脳実質外動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に 至らなかったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I66\$	脳動脈の閉塞及び狭窄, 脳梗塞に至らな かったもの	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I675	もやもや病<ウイリス動脈輪閉塞症>	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-
I679	脳血管疾患, 詳細不明	3日以内	-	-	-	-
		その他	-	-	-	-

脳梗塞入院は国際統計分類として、I63 \$ (脳梗塞)と分類されます。平均年齢は63～67歳で、高齢者の方が多くなっております。平均して1ヶ月程度の入院期間で治療とリハビリを行い、自宅もしくは施設に帰られております。

診療科別主要手術別患者数等(診療科別患者数上位3位まで) [ファイル](#)をダウンロード
循環器内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術(その他)	131	3.83	7.21	0.16	72.77	
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術(不安定狭心症)	23	0.17	20.43	0.25	69.78	
K5972	ペースメーカー移植術(経静脈電極)	23	9.43	19.96	0.16	79.3	

循環器内科では、冠動脈疾患(狭心症・心筋梗塞)の対する経皮的冠動脈ステント留置術・冠動脈形成術が多くなっております。

また、心不全等に対しては、ペースメーカー移植術の症例も増えております。

腎臓内科

Kコード	名称	患者数	平均術前日数	平均術後日数	転院率	平均年齢	患者用パス
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	43	0.21	1.09	0.16	73.37	
-	-	-	-	-	-	-	
-	-	-	-	-	-	-	

腎臓内科では、透析患者さんのシャントに対する経皮的シャント拡張術が多くなっております。その他(DIC、敗血症、その他の真菌症および手術・術後の合併症の発生率) [ファイル](#)をダウンロード

DPC	傷病名	入院契機	症例数	発生率
130100	播種性血管内凝固症候群	同一	-	-
		異なる	1	0.08
180010	敗血症	同一	1	0.08
		異なる	3	0.25
180035	その他の真菌感染症	同一	-	-
		異なる	-	-
180040	手術・処置等の合併症	同一	54	4.43
		異なる	1	0.08

その他では、手術・処置等の合併症の症例が多いことが分かります。これは、当院が、透析治療を行っており、透析治療入院やシャント拡張入院が増えているためです。

更新履歴

20160909